



2024年3月14日(木)

14 March 2024 (Thu)

A会場(1号館121教室) Room A

9:30~10:30		座長: 石田祐宣(弘前大)	
9:30	A1-1	東北地域における2023年夏季の猛暑評価および気候変動との関係	井上聡・大久保さゆり(農研機構東北研)
9:45	A1-2	アフラトキシン産生菌の分布に関連する気象気候指標とその変動	西森基貴(農研機構農環研)・塚田祐子(農研機構食品研)・若月ひとみ・長谷川利拓(農研機構農環研)・久城真代(農研機構食品研)
10:00	A1-3	青森県におけるリンゴ黒星病への温暖化影響評価	山本莉央・稲津将(北海道大学)
10:15	A1-4	気候レジームシフトから探る2010年以降冷夏が発生していない理由	天野未空・立花義裕(三重大)・安藤雄太(九州大・新潟大)

10:45~12:00		座長: 平田竜一(国立環境研)	
10:45	A1-5	異なる自生性有機物の添加に対する富栄養湖堆積物中のメタン生成応答の違い	Yang Chun Jet・岩田拓記・朴虎東・宮原裕一・浦井暖史(信州大)・伊藤雅之(兵庫県立大)・高野淑識(JAMSTEC)
11:00	A1-6	樹幹内部におけるメタンの生成と樹高方向への移動がつくる、幹メタン放出の空間的な不均一性	持留匠・檀浦正子・エプロンダニエル(京都大)
11:15	A1-7	スダジイ及びシラカンにおけるモノテルペン放出の季節性と生育環境要因の関係性	増井昇・張庭維・望月晴海・谷晃(静岡県立大)
11:30	A1-8	十勝地方における早春の気温と融雪の変動特性	石岡羽菜・木村賢人・中島直久・宗岡寿美(帯畜大)
11:45	A1-9	氷冷熱エネルギーのポテンシャル評価の検討	木村賢人・森田愛子・中島直久・宗岡寿美(帯畜大)

13:00~14:15		座長: 増富祐司(国立環境研)	
13:00	A1-10	北部九州におけるコムギ生育、収量の長期傾向と気候変動の関係	中川湧斗(九州大)・西尾善太(東京農業大)・秀島好知・三原実・森敬亮(佐賀県農業試験研究センター)・横山岳・安武大輔・広田知良(九州大)
13:15	A1-11	実測値により補正したメッシュ農業気象データの気温を用いた福岡県糸島地域のレモン栽培拡大に及ぼす気候変動の影響評価	比嘉ななみ・横山岳・安武大輔・広田知良(九州大)
13:30	A1-12	北海道における寒地型牧草の越冬性に影響する気象要因の長期的変動傾向	中村直樹(道総研酪農試)・牧野司(道総研酪農試)・眞田康治(北海道農研)
13:45	A1-13	ヒートドース値を用いた東北地域における2023年の水稲高温障害リスク評価	大久保さゆり・井上聡(農研機構東北研)・長谷川利拓(農研機構農環研)
14:00	A1-14	わが国水稲への気候変動影響と複数の適応策導入効果	石郷岡康史・長谷川利拓・西森基貴・桑形恒男・滝本貴弘・若月ひとみ(農研機構)

2024年3月14日(木)

14 March 2024 (Thu)

A会場(1号館121教室) Room A

14:30～15:30		座長: 町村尚(大阪大)	
14:30	A1-15	音響データを利用したコムギの収穫適期判定	村上貴一(農研機構北農研)
14:45	A1-16	音響放射でとらえる作物反応	小沢聖(明治大学)・蔭山健介(埼玉大学)・喜多英司((株)ルートレック・ネットワークス)・蜷木朋子(東京都小笠原亜熱帯農業センター)
15:00	A1-17	樹木の影を考慮したカラマツ林における反射率シミュレーション	藤原匠(防衛大学校)・内藤裕貴・細井文樹(東京大)
15:15	A1-18	ディープラーニングを用いた作物情報の取得に関する研究	加藤康生(北大農)・岡田啓嗣(北大院農)

15:45～16:45		座長: 細井文樹(東京大)	
15:45	A1-19	高層湿原モニタリングのためのUAVマルチスペクトル/LiDARデータの探索的分析	町村尚(阪大)・杉田暁(中部大)・露崎史朗・熊倉彩花(北大)・ホーテス・シュテファン(中央大)
16:00	A1-20	3反復航空機LiDAR測量による18年間2時期の森林バイオマス変化量の広域評価	細田理仁・高木健太郎(北海道大)
16:15	A1-21	ハイパースペクトルデータとドローン空撮データを用いた植物体の含水率モニタリング手法の検討	濱侃・小大塚生登・木村蒼・松橋寛太・松岡延浩(千葉大)・木村玲二・石井孝佳(鳥取大)・妻鹿良亮(山口大)
16:30	A1-22	小型で安価な軽量ドローンとゾンデモジュールを組み合わせた気象観測システムの構築	近藤文義(海上保安大学校)・小野圭介(農研機構)・杉田倫明(筑波大)・内田孝紀(九大応力研)

B会場(1号館122教室) Room B

9:30～10:30		座長: 松島大(千葉工業大)	
9:30	B1-1	関東地方における近年のひょうによる農業被害	横山仁・出世ゆかり・下瀬健一(防災科研)
9:45	B1-2	樹木のテルペン類放出特性の多様性	谷晃・張庭維・増井昇・望月晴海・國分優孝・奥村智憲(静岡県立大)
10:00	B1-3	風害軽減盛り土の土粒子飛散の数値シミュレーション	岡勇太・岡田啓嗣(北大院農)・山田亜由子(北大農)
10:15	B1-4	数値シミュレーションによる防風林の三次元構造の影響	山田亜由子(北大農)・岡田啓嗣・岡勇太(北大院農)

10:45～11:45		座長: 松田怜(東京大)	
10:45	B1-5	個体群光合成計測システムとプロセスモデルによるトマト収穫量予測	藤内直道・丸小凌我(愛媛大院農)・高山弘太郎(愛媛大院農・豊橋技術科学大院工)
11:00	B1-6	個葉光合成特性に基づいた個体群光合成の推定値と光合成計測チャンバを用いた個体群光合成の実測値の比較	藤田光・藤内直道(愛媛大院農)・磯山侑里・大場佳成(豊橋技術科学大院工)・高山弘太郎(愛媛大院農・豊橋技術科学大院工)
11:15	B1-7	温室イチゴ栽培における株元補光の提案と群落光合成速度に及ぼす影響の評価	今村莉花(九州大)・安武大輔(九州大・高知大)・日高功太(農研機構九州沖縄農業研究センター)・小野信太郎・中井鴻美・高橋朝也・横山岳・広田友良(九州大)
11:30	B1-8	ブラインド型ソーラーパネルによる植物生育を考慮した遮光と発電能力について	矢島宥貴・赤松紗耶香・越前美柚・嶋津光鑑(岐阜大)・守谷栄樹・鈴木素弘(中部電力電力技術研究所バイオグループ)

2024年3月14日(木) 14 March 2024 (Thu)

B会場(1号館122教室) Room B

13:00~14:00		座長: 渋谷俊夫(大阪公立大)	
13:00	B1-9	農業用温室天井部への結露に関する計算	平栄蔵
13:15	B1-10	塩水湛水栽培がコマツナの光合成に与える影響-光合成速度とクロロフィル蛍光パラメータの関係-	針谷胡桃(岩手大)・松嶋卯月(岩手大)
13:30	B1-11	塩水を用いたコマツナの湛水栽培 -Hydraulic lift現象が培地内水分変化に与える影響-	松嶋卯月(岩手大)・宇佐美瑤乃(東京農工大)
13:45	B1-12	防水被覆した温湿度センサによる植物葉層内の多湿環境評価	大石直記(静岡農林技研・静大創造科学技術大院)・二俣翔(静岡農林技研)

15:00~17:00

OS-A 園芸工学における光環境制御研究の新展開		オーガナイザー: 松田 怜(園芸工学研究部会長、東京大)	
OA-1		植物の成長戦略と光環境制御	渋谷俊夫(大阪公立大)
OA-2		完全人工光栽培において『光環境』が植物に及ぼす『影響』とは	地子智浩(電中研)
OA-3		光学シミュレーションを利用した植物工場の光環境最適化	齋藤洸太・後藤英司(千葉大)

C会場(9号館911教室) Room C

9:30~10:30		座長: 藤内直道(愛媛大)	
9:30	C1-1	明期PPFDの経日変化データを用いたキュウリ葉の光順化応答の推定	于立堯・富士原和宏・松田怜(東大)
9:45	C1-2	小型温室モデルを用いた費用対効果の高い換気時CO ₂ 施用法の策定	イジユン・松田怜・富士原和宏(東京大)
10:00	C1-3	温室内の列作物個体群の光合成シミュレーション	野村浩一・斉藤雅彦・但田育直・岩尾忠重・山崎富弘・北野雅治(高知大IoP共創センター)

10:45~11:45

		座長: 安武大輔(九州大)	
10:45	C1-5	パラメーターの変動がもたらすダイズ生育モデルの不確実性の比較	山黒宏康・岡田啓嗣(北大院農)
11:00	C1-6	近年の丹波黒大豆主産地における収量減少は土壌乾湿に起因するのか? -農研機構メッシュ農業気象データとFAO56モデルを用いた解析-	熊谷悦史(農研機構農業環境研究部門)・湊政徳(兵庫県立農林水産技術総合センター)・高橋智紀(農研機構中日本農業研究センター)
11:15	C1-7	テンサイの気象応答の品種間差と気候変動の影響	金谷真希(北海道農業研究センター)・森岡涼子(農業情報研究センター)・石郷岡康史(北海道農業研究センター)
11:30	C1-8	出穂期関連遺伝子情報と機械学習を用いたイネ発育予測アンサンブルモデルの開発	川北哲史(農研機構)・山崎将紀(新潟大学)・寺谷諒・矢部志央理・鐘ヶ江弘美・吉田ひろえ・伏見栄利奈・中川博視(農研機構)

2024年3月14日(木) 14 March 2024 (Thu)

C会場(9号館911教室) Room C

13:00~14:15

		座長: 白井靖浩(農研機構中日本農業研究センター)	
13:00	C1-9	ブドウ房周りの温湿環境に及ぼす除葉の効果	根本学・村上貴一(農研機構北農研)・山崎太地(室蘭工業大学)
13:15	C1-10	ハイブリッドAIモデルを用いたナス群落葉温の推定	但田育直・野村浩一・斉藤雅彦・岩尾忠重・山崎富弘・北野雅治(高知大IoP共創センター)
13:30	C1-11	2023年の高温条件下におけるナガイモの生育・収量の特徴	町田創(青森産技セ野菜研)
13:45	C1-12	アジアにおけるメタン排出が対流圏オゾン濃度と穀物生産性に与える影響	辰己賢一(名古屋市立大学)
14:00	C1-13	小笠原の細粒赤色土における作物反応に及ぼす酸素供給剤土壌処理の影響	蜷木朋子(亜熱帯農業センター)・小沢聖(明治大学)・蔭山健介(埼玉大学)・喜多英司(㈱ルートレック・ネットワークス)

15:00~17:00

OS-B 陸域生態系の二酸化炭素交換研究の現在地—今後の発展を見据えて—		オーガナイザー: 岩田拓記(信州大)・植山雅仁(大阪公立大)・平田竜一(国立環境研)	
OB-1	カンボジア国乾燥常緑林の樹冠上で測定したCO ₂ ・H ₂ O収支とその植物季節との関係性	清水貴範・伊藤江利子・壁谷直記・飯田真一(森林総研)・田中憲蔵(国際農研)・植山雅仁(大阪公立大)・玉井幸治・大貫靖浩・清水晃(森林総研)	
OB-2	説明可能なAIを用いたボルネオ熱帯雨林域のフラックス駆動因子の解明	羽田泰彬(東京大)・熊谷朝臣(東京大)	
OB-3	10年のタワーフラックス観測による年々変動	小谷亜由美(名古屋大)	
OB-4	豪雪による自然攪乱を受けたスギ林の植生動態と炭素循環	斎藤琢(岐阜大)・永井信(JAMSTEC)・玉川一郎・村岡裕由(岐阜大)	
OB-5	東アジア域の生態系における二酸化炭素収支の地理的分布を決定する要因解析	高尾勇太(大阪府大)・植山雅人(大阪公大)・Japan Flux PIs	
OB-6	土壌観測データの統合解析による土壌CO ₂ 収支の解明	山貫緋称・市井和仁・山本雄平(千葉大)・寺本宗正(鳥取大)・孫力飛(国環研)・小嵐淳・安藤麻里子(原子力機構)・永野博彦(新潟大)・平野高司・高木健太郎(北海道大学)・石田祐宣(弘前大学)・高木正博(宮崎大)・近藤俊明(国際農研)・高橋善幸・梁乃申(国環研)	
OB-7	森林・農地における太陽光誘起クロロフィル蛍光(SIF)観測とモデリングの進展	両角友喜・野田響(国立環境研究所)・小林秀樹(海洋研究開発機構)・加藤知道(北海道大学)	

📌 講演コード Cording number of slots

講演コードは以下のように割り振っています

[会場][大会日数]-[連番]

[種別]-[連番]

The code number is assigned as the follows:

[Room][Day of conference]-[Serial number]

[Type of session]-[Serial number]

A: A会場 Room A

B: B会場 Room B

C: C会場 Room C

Ox: OS, x = OS session ID

I: ISAM, C会場 Room C

P, IP, H: ポスター会場 Poster session

2024年3月15日(金) 15 March 2024 (Fri)

A会場(1号館121教室) Room A

9:00~10:00		座長: 小野圭介(農研機構・農業環境研究部門)	
9:00	A2-1	散乱光がハイマツ生態系の二酸化炭素吸収に及ぼす影響	西一輝・岩田拓記(信州大)
9:15	A2-2	諏訪湖沿岸帯と大気間の二酸化炭素交換における水生植物の役割	奥西亮介・岩田拓記・山田基(信州大)
9:30	A2-3	内陸アラスカのクロトウヒ林のCO ₂ フラックスの20年変動	植山雅仁(大阪公大)・岩田拓記(信州大)・永野博彦(新潟大)・原菌芳信(大阪府大)
9:45	A2-4	熱帯泥炭林における二酸化炭素収支の変動要因	平野高司(北大)・大久保晋治郎(道総研)・伊藤雅之(京大)・都築勇人(愛媛大)・坂部綾香(京大)・高橋英紀(北海道水文気候研)・キッソ クシン(パラカラヤ大)・大崎満(北大)

10:15~11:30		座長: 常田岳志(農研機構・農業環境研究部門)	
10:15	A2-5	浅い富栄養湖からのメタン放出の経年変動の制御要因	山田基・岩田拓記・宮原裕一・朴虎東・澤野耕平(信州大)・平田竜一・高橋善幸(国立環境研究所)・伊藤雅之(京都大)
10:30	A2-6	森林土壌における斜面位置の違いがCH ₄ 吸収に及ぼす影響	小泉駿介(大阪府大)・植山雅仁(大阪公大)・高梨聡(森林総研)
10:45	A2-7	イネおよびダイズ群落におけるCH ₄ /CO ₂ 濃度プロファイルの品種間差異	小野圭介(農環研)・常田岳志(農環研)・熊谷悦史(農環研)・小早川竜也(農環研・東京大院)・高橋賢紀(農環研・東京大院)
11:00	A2-8	長野県上田市でのブドウ栽培と確氷おろし・地峡風の局地風との関連性	真木太一(九州大名誉教授)
11:15	A2-9	関東・甲信越の局地風の気象特性	真木太一(九州大名誉教授)

B会場(1号館122教室) Room B

9:00~11:00		OS-C 続、農家に近年定着した技術の開発・定着過程における障壁とその打開策	
		オーガナイザー: 小沢聖(明治大)	
OC-1	Society5.0型農業の先駆けとしての高知IoPの取り組み	北野雅治(高知大)・岡林俊宏(高知県庁)	
OC-2	宮城県における水稲乾田直播栽培の作業分散技術開発と普及宮城県における水稲乾田直播栽培の作業分散技術開発と普及	菅野博英(古川農試),下野裕之(岩手大),八巻文紀((有)やさい工房八巻)	
OC-3	当事者が語る農業技術イノベーションの普及	小林和彦(国立環境研)・広田知良(九州大)	

2024年3月15日(金) 15 March 2024 (Fri)

C会場(9号館911教室) Room C

9:00~9:45		Chair: Hiroki Oue (Ehime University)	
9:00	I2-1	Relationship between ecosystem photosynthesis and root respiration estimated by Random Forest modelling method	Rui Hu, Kaho Sakaguchi, Takashi Hirano (Hokkaido University), Lifei Sun, Naisheng Liang (NIES)
9:15	I2-2	Advanced growth stage in overwintering cereals associated with annual variations of snowcover under warming in northern Japan	Seiji Shimoda, Yumi Shimazaki, Sachiko Ikenaga, Miyuki Nakajima, Satoshi Kawakita, Masako Seki
9:30	I2-3	Summer Relative Humidity Trends in Japan and Their Impact on Heat Stress Indices	Hitomi Wakatsuki, Tsuneo Kuwagata, Yasushi Ishigooka, Takahiro Takimoto, Motoki Nishimori, Toshihiro Hasegawa (NARO)

10:00~11:15		Chair: Seiji Shimoda (NARO)	
10:00	I2-4	Development of a process-based crop growth model MATCRO for global soybean yield estimation	Astrid Yusara (Hokkaido University), Tomomichi Kato (Hokkaido University), Yuji Masutomi (National Institute of Environmental Studies), Elizabeth A. Ainsworth (USDA ARS Global Change and Photosynthesis Research Unit, Urbana, USA), Rafael Battisti (Escola de Agronomia, Universidade Federal de Goiás, Brazil), Yushan Wu (College of Agronomy, Sichuan Agricultural University, China), Etsushi Kumagai (Division of Agro-Environment Research Agricultural Meteorology Group, National Agriculture and Food Research Organization, Japan), Satoshi Nakano (Division of Climate Change, Institute for Agro-Environmental Sciences, NARO, Japan).
10:15	I2-5	Water stress changes relationship between stomatal conductance and photosynthesis	Fekremariam Aasrgew Mihretie, Yuji Masutomi, Kazuhiko Kobayashi, Mitsuko Aono
10:30	I2-6	Evaluation of effects of stomatal conductance and water surface temperature beneath the canopy on the rice leaf temperature by a multi-layer model	Hiroki Oue (Graduate School of Agriculture, Ehime University), Taufiq Yuliawan, Nazif Ichwan, Augustine Ukpoju (The United Graduate School of Agricultural Sciences, Ehime University)
10:45	I2-7	Two years comparison of N-uptake and yield between Takanari and Koshihikari in organic farming field	Jean Yves DUKUZUMUREMYI, Weiguo CHENG (Yamagata University), Christian NKURUNZIZA, Margi Asih MAIMANAH (Iwate University), Nakamura HIKARU, Yabe MANAMI, Shuirong TANG, Yuka SASAKI and Hideki MURAYAMA (Yamagata University)
11:00	I2-8	Development of iOS camera application for evaluation of plant cover ratio	Yugo Hirai, Yasuomi Ibaraki (Yamaguchi University)

2024年3月16日(土) 16 March 2024 (Sat)

A会場(1号館121教室) Room A

13:00~14:30

座長:根本学(農研機構北海道農業研究センター)

13:00	A3-1	近畿圏の梅雨期から夏季における一雨降水に着目した解析雨量の精度検証	岡村悠作・森岡隼弥・高山 成(大阪工業大)
13:15	A3-2	埼玉県秩父盆地で発生する霧とSPMの関連性	今枝 侑香・重田祥範(公立鳥取環境大)
13:30	A3-3	Force-Restore法を用いた日平均地温のメッシュ化手法の検討	橋本英里香・横山岳(九州大)・安武大輔(九州大・高知大)・広田知良(九州大)
13:45	A3-4	一層熱収支モデルに基づく植物群落の結露生成に関する理論的研究	桑形恒男・丸山篤志(農研機構)・近藤純正(東北大)・渡辺力(北海道大)
14:00	A3-5	深層学習代理モデルを用いたWRF気象データの高分解像度化	佐久間一世,岡田啓嗣(北大院農)
14:15	A3-6	固定LiDARを用いた落葉広葉樹林の点群データの季節変化	平田竜一(国環研)・平春(AME Corporation)・山尾幸夫(国環研)・浦野健太・平野高司(北大農)

B会場(1号館122教室) Room B

13:00~15:00

OS-D モデルを通じた現象の理解と予測、次の10年の展望と課題 オーガナイザー:増富祐司(国立環境研)・飯泉仁之直・滝本貴弘(農研機構)	
OD-1	光合成-蒸散-気孔モデルの解の存在と一意性 増富祐司(国環研)・小林和彦(東大・国環研)
OD-2	Model-assisted plant breeding with statistical genetics for higher total biomass in tomato: light interception vs light use efficiency 堤ゆたか(国立環境研・Wageningen University)・Sedighehsadat Khaleghi・Martin P. Boer(Wageningen University)・Frank F. Millenaar(BASF's vegetable seeds business(Nunhems))・Daniela Bustos-Korts・George A.K. Van Voorn・Leo F.M. Marcelis・Fred A. Van Eeuwijk・Ep Heuvelink(Wageningen University)
OD-3	日本における2023年の夏季高温 滝本貴弘・飯泉仁之直(農研機構)
OD-4	気候変動に伴う日本のコメ生産のリスク評価 吉田龍平(福島大)・西原是良(東京大)・高橋大輔(拓殖大)
OD-5	温暖化が水田の持続的生産性に及ぼす影響と有機物施用のモデル解析 長谷川利拓(農研機構農業環境研究部門)・西田瑞彦(東北大院農学研究科)
OD-6	西アフリカの重要作物ササゲは将来の気候変動により過湿への対策が必要となる 飯泉仁之直(農研機構)・井関洸太郎・伊ヶ崎健大・酒井徹(国際農研)・塩竈秀夫(国環研)・今田由紀子(東京大)・Benoit Joseph Batiemo(INERA)

C会場(9号館911教室) Room C

13:00~14:00

Chair: Tomotsugu Yazaki (Mieji University)

13:00	I3-1	Long term variability of agricultural drought's characteristics in Indonesia	Amalia Nafisah Rahmani Irawan, Daisuke Komori (Tohoku University)
13:15	I3-2	Impact Assessment of Climatic Hazards on Wheat and Rice Cultivation in Afghanistan: An Analysis of Elevation-Driven Climatic Shifts	Mohammad Naser Sediqi, Daisuke Komori (Green Goal Initiative, Tohoku University)
13:30	I3-3	Compound hot dry events and their impact on crop production	Mokhele Moeletsi, Mitsuru Tsubo (Agricultural Research Council)
13:45	I3-4	Responses of the yields of minor crops to climate change	Gen Sakurai, Naoki Isitsuka, Norikazu Okabe (NARO)

2024年3月16日(土) 16 March 2024 (Sat)

C会場(9号館911教室) Room C

14:15~15:00

Chair: Masahito Ueyama (Osaka Metropolitan University)

14:15	13-5	Energy flux measurements over a flat snow surface in Hitsujiigaoka, Hokkaido	Hiroki Ikawa, Manabu Nemoto (HARC), Kazuyuki Saito (JAMSTEC), and Takashi Hirano (Hokkaido University)
14:30	13-6	Do high temperature experiences alter the characteristics of Sphagnum litter decomposition?	Yuuki Yamauchi, Tomotsugu Yazaki, McTaggart Iain Peter (Meiji University)
14:45	13-7	Temperature sensitivities of soil N mineralization and nitrification under two moisture conditions in Northeastern Japan	Shuirong Tang (Yamagata University), Jean Yves Dukuzumuremyi (Yamagata University), Christian Nkurunziza (Iwate University), Margi Asih Maimunah (Iwate University), Keitaro Tawaraya (Yamagata University), Weiguo Cheng (Yamagata University)

📍 エクスカーション日程 Schedule of excursion

日時 2024年3月17日(日) 8:45~12:30 (交通事情等により時間に変更有)

Date: 17 Mar. (Sun) 8:45~12:30 (Finish time may change due to traffic conditions)

経路(予定) Route:

8:55 仙台駅東口出発 Departure: East Gate of JR Sendai Station

9:30~10:00 震災遺構 仙台市立荒浜小学校

Arahama Elementary School Ruins

10:40~ (農) 寺島生産組合農業施設(ライスセンター)、農業機械等

Terashima producers association

11:10~ (有) やさい工房八巻園芸施設(トマト等)・ジャガイモ収穫機等

Yasai-Kobo Yamaki

11:45~ 仙台空港着 Arrival: Sendai Airport

12:30~ 仙台駅東口着 Arrival: East Gate of JR Sendai Station



仙台駅東口2F(右・ヨドバシカメラ)
East Gate of Sendai Station, 2F



観光バス乗り場への昇降口
Entrance to the sightseeing bus stop



ライスセンター(寺島生産組合)



トマト生産(やさい工房八巻)



SAMJ 一般研究発表(ポスター発表)プログラム

2024年3月15日(金) 15 March 2024 (Fri)

ポスター会場(10号館Tohtech Forum + 9号館サテライト)

コアタイム：奇数16:30~17:30, 偶数17:30~18:30

P-1	直播甜菜の風害発生と圃場風上側植生の関係	渡邊蒼世・松島大(千葉工大)・白旗雅樹(農業情報設計社)・西野雅宏・石井岳浩・柏木浩二・妹尾吉晃(北海道糖業)・根本学(農研機構・北農研)・鮫島良次(北大)
P-2	畝の風食に伴うジャガイモ緑化の防止：防風林の新たな効果	岩崎健太(森林総研)・下田星児(農研機構北農研芽室)・中田康隆(京都府立大)・速水将人(道総研林業試)・南光一樹(森林総研)・鳥田宏行(苫小牧高専)
P-3	霜注意報の適中率について	澁谷和樹(明治大)・登尾浩助(明治大)
P-4	狭山茶栽培管理モデルと生産者をリアルタイムに繋ぐシステムの開発	工藤健(埼玉茶研)・木村建介(農研機構農環研)・大木和也・後藤高秋・高橋淳(埼玉茶研)
P-5	温暖化が鹿児島県でのチャ主要品種“やぶきた”の初霜害・凍害リスクにもたらす影響予測	岩井雅裕(九州大)・安武大輔(九州大・高知大IoP共創センター)・横山岳(九州大)・栢木琢磨(鹿児島県茶業部)・広田知良(九州大)
P-6	農業気象メッシュデータを用いた葉いもち病の感染リスクの広域推定	森牧人・山口愛実(高知大農林海洋科学部)
P-7	八甲田田代平における冷気の観測	江渕竜介・京野祐大・石田祐宣(弘前大)
P-8	令和元年房総半島台風上陸時の千葉県における風速分布推定	安田幸生(森林総研)
P-9	都市緑地が周辺市街地に及ぼすヒートアイランド緩和効果の検討	飯田彩夏・矢崎友嗣(明治大)
P-10	全球数値予報モデルによる気温推定のための機械学習向けデータベースの開発	植山秀紀(農研機構)
P-11	生業建築と微気候-宮城県丸森町の凍み大根生産農家を事例として-	吉田陽菜子(東北工業大院)・大沼正寛(東北工業大院)
P-12	日本におけるアフラトキシン産生菌分布に関する系統的レビュー	塚田祐子・久城真代(農研機構食品研)・若月ひとみ・長谷川利拓・西森基貴(農研機構農環研)
P-13	気象要素に起因する玄米タンパク質含有率の変動	秋葉眞子・濱侃・松岡延浩(千葉大園芸)・望月篤(千葉県農林総合研究センター)
P-14	気候変動下の水稻栽培における節水ICT技術普及のダイナミクス	中河嘉明・横沢正幸(早稲田大)
P-15	成長解析に基づくダイズの早播・摘芯効果の評価	福永翔一・久保田滋裕(九州大)・松崎治久(農家)・安武大輔・横山岳・広田知良(九州大)
P-16	積算日射受光量によるブロッコリーの花蕾径予測	杉浦妃奈子・高橋徳・大石麻南登・佐藤文生(農研機構野花研)
P-17	市販強制通風筒, 自作強制通風筒, 三球温度計の野外における気温測定の特性の比較	比嘉ななみ・福永翔一・山本真優・高橋朝也・鄧振航・中川湧斗・柴田敏宗・橋本英里香・川本光・今村莉花・横山岳・安武大輔・広田知良(九州大)
P-18	自作可能な強制通風筒を用いた気温・湿度観測とそれらの普及	臼井靖浩(農研機構中農研)
P-19	RGBカメラとスペクトルカメラを使用した根の乾物重の推定精度の比較	金子詣(九州大院生物資源環境科学府)・安武大輔(九州大院農学研究院・高知大IoP共創センター)・横山岳・広田知良(九州大院農学研究院)
P-20	GOSAT-2衛星観測による全球CO ₂ ・CH ₄ 収支推定	齊藤誠・丹羽洋介・吉田幸生・亀井秋秀・村上和隆・佐伯田鶴・八代尚・松永恒雄(国立環境研)
P-21	CNNモデルを用いたデジタルカメラ画像からの表層土壌水分量の推定	齋藤萌香・濱侃(千葉大園芸)・丸山篤志・林志炫(農研機構)・松岡延浩(千葉大園芸)
P-22	衛星リモートセンシングによる東南アジアの土地利用変化	白石知弘(日本文理大)・平田竜一(国環研)・林真智(JAXA)・平野高司(北大)

P-23	気象衛星ひまわりデータの高解像化	小磯直也・岡田啓嗣(北大院農)
P-24	植物の揮発性有機化合物放出は温暖化によって増加するのか	奥村智憲(おおさか環農水研)・小杉緑子(京都大)・高梨聡(森林総研)
P-25	ひまわり画像データを用いたカラマツ林のフェノロジー解析	伊賀温志(北海道大院農学院)
P-26	コナラのイソプレン放出と葉含水比の関係性	深山貴文・小南裕志・吉藤奈津子・平田晶子(森林総研)
P-27	土壌二酸化炭素フラックスに周辺樹木が与える影響	湯浅圭亮・SumontaPaul・DanelEpron(京都大)
P-28	富士吉田森林気象試験地とその近郊において検出された最近の気候変動トレンド(3)	岡野通明(森林総研)・小南裕志・深山貴文・吉藤奈津子・高梨聡・中井裕一郎・中野隆志(山梨県富士山研)・鈴木純(信州大農)
P-29	雪害を受けた冷温帯スギ林における粗大木質リター分解呼吸速度の空間変動の解明	小杉朋幹・日恵野綾香・斎藤琢(岐阜大)
P-30	安比高原ブナ林における2023年のCO ₂ 吸収・放出量について	安田幸生・森下智陽(森林総研)
P-31	森林点群データを用いた樹冠単位の点群分類に基づく胸高直径推定手法の開発	山田修吾(東北工業大)
P-32	森林点群データと樹木個体モデルを用いた個体成長量推定	大場真・山田修吾(東北工大)
P-33	無人航空機を用いたLiDAR計測による落葉広葉樹林の樹高推定	浦野健太・平野高司(北大農)
P-34	山岳域ハイマツ生態系と大気間のエネルギー、水蒸気、二酸化炭素交換のデータセット	岩田拓記・牧田直樹(信州大理学部物質循環学コース)
P-35	渦相関法による寒冷域の二酸化炭素フラックス計測に向けた空気試料の除湿方法の比較	能城太一・野村大樹(北大)・近藤文義(海上保安大)・小野圭介・伊川浩樹(農研機構)
P-36	新潟の牧草地およびエダマメ畑を含む農耕地での渦相関フラックス観測	永野博彦・長谷川英夫(新潟大)
P-37	京都市市街地におけるCO ₂ フラックスの通年変化	佐藤亮太・坂部綾香・小杉緑子(京都大)
P-38	バイオ炭を施用した草地飼料畑からの温室効果ガスの発生量	後藤慎吉・古賀伸久(農研機構・九州沖縄農業研究センター)
P-39	領域気象モデルを用いた農地熱環境の解析：過去・現在気候下における夏季気温の再現性の検証	諸橋聡佳・佐々木華織・丸山篤志・寺谷諒(農研機構)・日下博幸(筑波大計算科学研究センター)
P-40	モンゴル国における気候・植生指数の時空間変動解析	中野智子(中央大)
P-41	干渉SARを用いたエジプト ハルガ・オアシスとダハラ・オアシスにおける地表面変動観測	黒上京太郎・濱侃・松岡延浩(千葉大園芸)・岩崎えり奈(上智大)
P-42	将来のモンゴルにおける植生分布予測とその遊牧への影響	立入郁(海洋研究開発機構)
P-43	機械学習(ランダムフォレスト)による収量推定の学習データ依存性	眞崎良光・飯泉仁之直(農研機構)・酒井徹(国際農研)・大吉慶(JAXA)
P-44	機械学習モデルによる作物群落の蒸発散の推定:プロセスモデルを用いた特徴量エンジニアリングによる汎化性と解釈性の向上	横山岳・張替創太(九大)・安武大輔(九大・高知大)・野村浩一・北野雅治(高知大)・広田知良(九大)
P-45	土壌の過湿に対する植物の通水性応答を考慮した土壌-植物-大気連続体モデル	久保田滋裕(九州大)・西田和弘・吉田修一郎(東京大)

P-46	Pressure-Volume Curveの簡単な測り方	小沢聖(明治大)
P-47	アスパラガスの1年養成株全収穫栽培法「ハウス採りつきり栽培」における生育および収量の推移の解析	山下紗佳・鈴木海斗(明治大院)・大出浩睦((株)誠和)・元木悟(明治大)
P-48	下水汚泥メタン発酵消化液由来の濃縮有機液肥を活用したトマトおよびイチゴの養液栽培	佐合悠貴(山口大)・矢部光保(九州大)
P-49	栽培画像を利用したイチゴの開花量評価に関する研究	植木朋実・荊木康臣(山口大院創成科学研究科)・原田浩介・小山覚史(山口県農林総合技術センター)
P-50	無加温下の昼間高温管理が中玉トマトの収量に及ぼす影響	二俣翔・大石直記(静岡農林技研)
P-51	糖代謝を考慮したイチゴ果実内の主な可溶性糖の濃度推定	中井鴻美・安武大輔(九大)・日高功太(九沖農研)・三好悠太(量研)・江口壽彦・横山岳・広田知良(九大)
P-52	満開後60～150日までの施設内環境がウンシュウミカンの果実生産に及ぼす影響	田邊秀和・矢野拓・佐藤裕一(大分県)・竹田雅博(JAおおい)
P-53	人工光植物工場における矮性イチゴ品種への近接照明が生産特性に及ぼす影響	高橋朝也・安武大輔・横山岳・広田知良(九州大)・日高功太(九沖農研)・中村武志(株式会社オーレック)
P-54	暖候期昼間の作物局所冷房下における温室の熱流解析	安武大輔(九州大)・Zhang Yue(Jiangsu University)・柳沢知世(九州大)・横山岳(九州大)・広田知良(九州大)
P-55	温室内の微風速環境において風がイチゴの個葉光合成速度に及ぼす影響ー拡散抵抗と葉の熱収支に基づく解析ー	小野信太郎・横山岳(九大)・安武大輔(九大・高知大)・中井鴻美(九大)・日高功太(九沖農研)・木村建介(農環研)・野村浩一・北野雅治(高知大)・広田知良(九大)
P-56	壁面緑化を目的とした数種植物の光合成および蒸散特性	彦坂晶子・加藤颯(千葉大)・大島佳保里・栗木茂・鈴木孝彦・上柳燎平(戸田建設(株))
P-57	葉の分光分布と葉温の同時測定が可能な計測装置の作成ー葉温の変化が葉の分光分布に及ぼす影響の評価に向けてー	柴田敏宗・横山岳・安武大輔・広田知良(九州大)
P-58	夏期の執務空間における温熱環境改善を目指した緑のカーテンの実証研究	高木理恵・大場真(東北工業大)
P-59	連続した高濃度CO ₂ 施用がキュウリの光合成速度に及ぼす影響	大嶋翔太(福島大)・小田島裕(岩手県)・深山陽子(福島大)
P-60	レタス高密度植栽培を可能にする光環境制御技術に関する研究	荊木康臣・中田征吾・時政智羽・足立茉莉(山口大農学部)
P-61	遠赤色光および相対湿度がキュウリ葉の光合成特性に及ぼす複合影響	和田菜花(大阪府大)・渋谷俊夫(大阪公大)・遠藤良輔(大阪公大)
P-63	クロロフィル蛍光とPRIの同時画像計測によるPSII量子収率解析	佐伯知範・荊木康臣(山口大院創成科学研究科)
P-65	迅速光合成計測に基づいた秋播きコムギのバイオマス量推定モデル	鈴木公大(北海道大)・伊川浩樹(北海道農業研究センター)・平野高司(北海道大)

*P62, 64は欠番です



ISAM Poster session program

15 March 2024 (Fri)

Building 10, Tohtech Forum

Core time: Odd numbers 16:30~17:30, Even numbers 17:30~18:30

IP-1	Development of Low-Cost Farming Support Robot and Verification of Its Validity Based on ROS (Robot Operating System)	Sutan Muhamad Sadam Awal (Kochi University), Koichi Nomura (Kochi University), Takashi Okayasu (Kyushu University), Masaharu Kitano (Kochi University)
IP-3	A life cycle assessment for the effects of peat mining and utilization on the CO ₂ emission : an example of peatmoss from Hokkaido and Canada	早川賢信,矢崎友嗣(明治大)
IP-4	Methane emission from stems of Japanese cypress at different stages of decay	Ayaka Sakabe (Kyoto University), Zhining Liu (Kyoto University), Yoshiko Kosugi (Kyoto University)
IP-5	Changes in soil CO ₂ and CH ₄ fluxes influenced by the conversion of a tropical peat forest to an oil palm plantation in Borneo using an automated continuous chamber system	Kanna Tanaka (Meiji University), Ryuichi Hirata (National Institute for Environmental Studies), Kiwamu Ishikura (Hokkaido Research Organization), Takashi Hirano (Hokkaido University), Tomotsugu Yazaki (Meiji University), Guan Xhuan Wong, Frankie Kiew, Joseph Wenceslaus Waili, Kim San Lo, Lulie Melling (Sarawak Tropical Peat Research Institute)
IP-6	Pathway-specific emissions and dissolved CH ₄ pool in the soil as affected by different rice varieties	Takeshi Tokida (Institute for Agro-Environmental Sciences, NARO), Masako Kajiura (Research Center for Agricultural Information Technology), Takeru Saito (formerly of Ibaraki University), Ma Xuping (Institute for Agro-Environmental Sciences, NARO), Junko Nishiwaki (Tokyo University of Agriculture and Technology)
IP-7	The response of heterotrophic CO ₂ flux to cessation of long-term soil warming in a cool-temperate forested peatland	Ruiqi Ma, Kentaro Takagi, Takashi Hirano (Hokkaido University), Lifei Sun, Naishen Liang, Yoshiyuki Takahashi (National Institute for Environmental Studies), Munemasa Teramoto (Tottori University), Toshiaki Kondo (Japan International Research Center for Agricultural Sciences), Jun Koarashi, Mariko Atarashi-ando (Japan Atomic Energy Agency), Sachinobu Ishida (Hirosaki University), Masahiro Takagi (Miyazaki University), Kazuhito Ichii (Chiba University)
IP-8	Effects of spatial distribution of root on methane emissions among rice genotypes	Ma Xuping(農研機構・農環研), Masako Kajiura(農研機構・農情研), Tsubasa Kawai(農研機構・作物研), Daichi Fukushima, Kyu kyu Hmwe(農研機構・農環研), Samuel Kimani(農研機構・農環研, JSPS外国人特別研究員), Yoriko Sakai(農研機構・農環研), Yusaku Uga(農研機構・作物研), Takeshi Tokida(農研機構・農環研)
IP-9	Effect of vegetation and topography on soil methane (CH ₄) flux in a cool temperate forest	Sumonta Kumar Paul, Daniel Epron, Masako Dannoura (Kyoto University)
IP-10	An observational study on dust and surface soil properties in the Gobi Lakes Valley, Mongolia	Dai Matsushima (Chiba Institute of Technology), Ulgiichimeg Ganzorig, and Ochirbat Batkhishig (Institute of Geography and Geoecology, Mongolian Academy of Sciences)
IP-11	Analysing of Summer Daytime Heat-island Structure in Osaka Region by using WRF	Masami Mizukami, Masahide Matsumoto, Naru Takayama (Osaka Institute of Technology)

IP-12	Analyses of Sphagnum growth and radiation-use efficiency in a floating culture using a 3D scanner	Tomotsugu Yazaki, Reo Mori, Maho Tafuru, Koki Irisa, Takaya Uematsu (Meiji University), Haruo Takayama (Kajima Corporation)
IP-13	Photosynthetic acclimation of apple leaves to low solar radiation in autumn: A preliminary findings	Hassan Md Rakibul, Daiyu Ito (Hirosaki University)
IP-14	Climate analysis and its implication on crop production in Senegal	Gualbert Seraphin Dorego (Senegalese Institute for Agricultural Research), Mokhele Moeletsi (Agricultural Research Council, South Africa), Mitsuru Tsubo (Tottori University)
IP-15	Model-assisted plant breeding with statistical genetics for higher yield in tomato recombinant inbred lines	Yutaka Tsutsumi (National Institute for Environmental Studies, Japan; Wageningen University), Ep Heuvelink, Sedighehsadat Khaleghi, Daniela Bustos-Korts, Leo F.M. Marcelis (Wageningen University), Frank F. Millenaar (BASF's vegetable seeds business (Nunhems)), George A.K. Van Voorn, Fred A. Van Eeuwijk (Wageningen University)
IP-16	Frequency and dissipation time of radiation fog formed in the Ozu Basin, Ehime Prefecture, Japan	Yoshinori SHIGETA (Tottori University of Environmental Studies)
IP-17	Changes over time in plant physiological parameters in U.S. and domestic soybean cultivars and lines developed from them	Yasuhiro Usui (NARO CARC)

*P-2 is missing code number due to a cancellation

SAMJ 高校生ポスター研究発表 プログラム

今大会から、開催地域、地域の高校・高校生と交流を図るべく、高校生ポスター発表を開始しました。参加する高校生には、本大会のポスター研究発表の紹介をアテンドが行う企画(本部若手育成WG)も行われています。

2024年3月15日(金) 15 March 2024 (Fri)

ポスター会場(10号館Tohtech Forum)

コアタイム : 16:30~17:30

H-1	宮城県川崎町の野生動物調査～キャンプ場をアカデミックフィールドに～	遠藤真央・児島碧海(仙台城南高等学校 自然科学部)
H-2	カワニナの生態調査と人工飼育を通じた環境保全の理解	大場優希・浅野匠登(東北学院中学校・高等学校 科学部生物班)
H-3	メタン生成菌によるメタン発酵の効率向上と発酵環境の最適化	土橋叶芽・佐々木貫志・人見太陽(福島県立福島高等学校 スーパーサイエンス部)
H-4	メコンデルタ ベンチェ省の稲作農家で実践可能な除塩方法の提案	太齋純香(宮城県仙台二華高等学校)
H-5	メコンデルタにおけるアイスプラントによる除塩の可能性	佐々木新太(宮城県仙台二華高等学校)